

まちづくり交付金 事後評価シート  
沼津駅周辺地区

平成21年12月

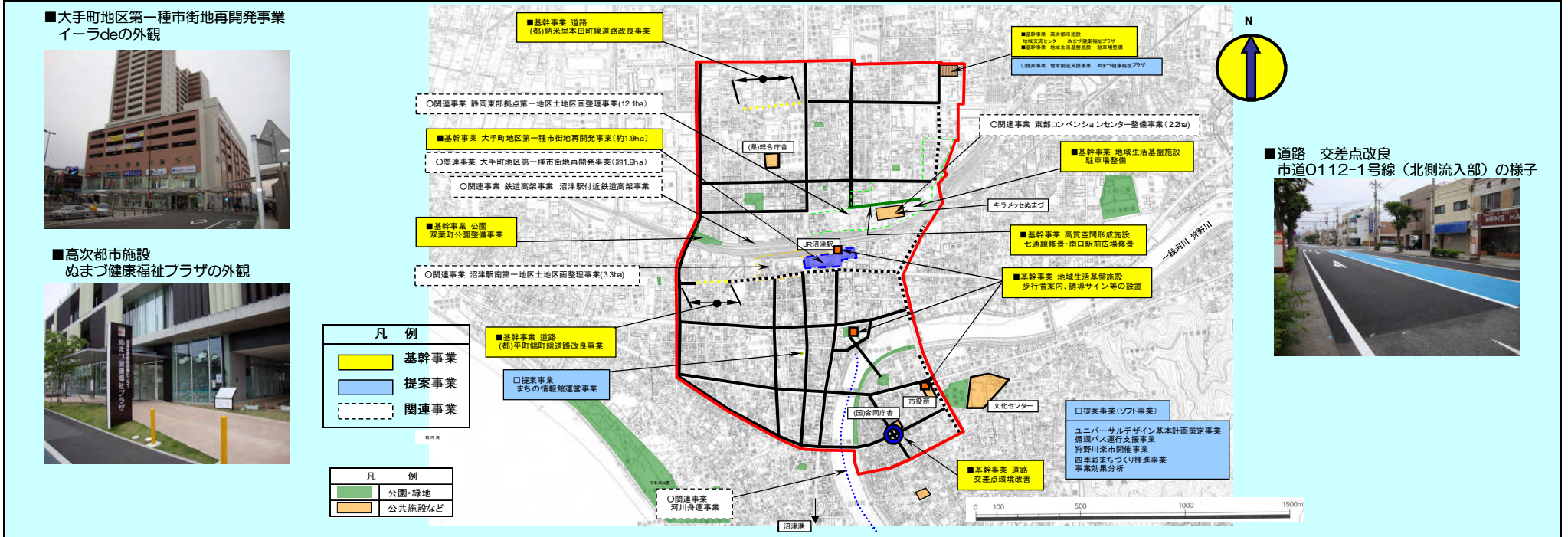
静岡県沼津市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	沼津市		地区名	沼津駅周辺地区		面積	233ha		
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	7,416.2百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
			基幹事業	道路整備(2路線)、道路交差点改良(2か所)、地域生活基盤施設(駐車場・案内板設置)、高質空間形成施設(緑化施設等設置)、市街地再開発事業(大手町地区第一種市街地再開発事業)								
	当初計画から削除した事業		提案事業	事業活用調査(ユニバーサルデザイン基本計画策定)、まちづくり活動推進事業(循環バス運行支援事業、まちの情報館運営事業、狩野川楽市開催事業、四季彩まちづくり推進事業)								
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	新たに追加した事業		基幹事業	道路交差点改良(市道0232線、市道0235線 1か所)			平成23年度に電線類地中化予定であるため事業延期			交通環境の改善という目標に対して影響はあるものの、供用中の交差点の変更であるため影響は少ないと考え、指標および数値目標は据え置く。		
			提案事業	なし								
交付期間の変更		当初	平成17年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-					
		変更	平成17年度～平成21年度									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
	指標1	中心市街地の歩行者数	人/日	71,000	H15	75,000	H21	76,994	69,000	△	あり なし	平成22年8月
	指標2	沼津駅の利用者数	人/年	8,476,000	H14	8,000,000	H21	8,257,000	8,196,800	○	あり なし	平成23年4月
	指標3	沼津駅周辺地区の宿泊者数	人/年	183,000	H15	200,000	H21	258,926	269,000	○	あり なし	平成22年4月
	指標4										あり なし	
	指標5										あり なし	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
	その他の数値指標1	循環バスの利用者数	人/年	82,000	H16			86,675	83,288		沼津駅を起点に市街地の南北を8の字で循環し、南北地域の交流促進に貢献している。	平成22年4月
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の手作りによるイベントが開催され、中心市街地に賑わいが創出された。</li> <li>まちづくりに関する講座やセミナーを開催したことで、担い手の育成が図られた。また、交流の場としての機能が発揮された。</li> <li>TMOぬまづが中心市街地のにぎわい事業の企画立案・調整を行った。</li> </ul>											
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等	
	モニタリング	実施事業の進捗状況の確認、指標の達成状況の把握を行った。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	特になし。	
	住民参加プロセス	音楽をキーワードとした「狩野川楽市」を開催した。中央公園にて市民がブースを出展したり、ステージを設置した屋外ライブを実施したりした。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	他の事業への活用を図る。	
	持続的なまちづくり体制の構築	「まちの情報館」の運営を行った。まちの情報館では、まちづくりに関する講座やセミナーの開催、空き店舗を活用した期間限定ショップなどを行った。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	引き続き、事業者や市民によるまちづくり活動の促進を図る。	
	「TMOぬまづ」によって、まちづくりに関するイベントや情報発信、街並づくり等を行った。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	事業内容の見直しを行い、活動の促進を図る。		

## 様式2-2 地区の概要

沼津駅周辺地区（静岡県沼津市）まちづくり交付金の成果概要						
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
駅周辺の賑わいの再生と活性化 目標1 中心市街地の都市機能の高度化と拠点性を高め、賑わいを再生する。 目標2 豊かな自然環境を活かし、まちの魅力を高めることにより定住人口・交流人口の増加を図る。 目標3 交通環境の改善により交通の円滑化と歩行者の快適性の向上を図り、人・物の流れを促進する。		中心市街地の歩行者数	単位：人／日	71,000 H15	75,000 H21	69,000 H21
		沼津駅の利用者数	単位：人／年	8,476,000 H14	8,000,000 H21	8,196,800 H21
		沼津駅周辺地区の宿泊者数	単位：人／年	183,000 H15	200,000 H21	269,000 H21



**まちの課題の変化**

- ・複合施設「イーラde」や福祉・医療複合施設「ぬまつ健康福祉プラザ」等が整備され都市機能の集積と高度化が図られるとともに生活基盤が向上した。
- ・南北の地区分断を解消するため、交通ネットワークの円滑化が必要である。
- ・複合施設「イーラde」に多様なテナントが入ることで、新たな商業空間が創出された。
- ・既存の商店街を活用したさらなる商業空間の魅力や賑わいの向上が必要である。
- ・狩野川楽市開催事業、四季彩まちづくり推進事業等により地域観光資源を活用したイベントが開催され、まちの情報館によって情報発信がされている。
- ・各拠点を結ぶ循環バスの運行によって回遊性が高められている。
- ・(都) 納米里本町線の拡幅整備、(都) 七通線のストリートファニチャー等整備、沼津駅南口駅前広場の修景により歩行環境が改善し、快適性が向上した。
- ・双葉町公園の整備により、住民にとってのくつろぎの空間が拡大された。
- ・土地区画整理事業により街区の再編、低・未利用地の集約化や基盤整備を進めており、生活環境が向上している。
- ・(都) 納米里本町線の残区間を整備し、自動車交通の円滑化および歩行者空間の改善を図る必要がある。

**今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)**

- ・新たな施設を整備することで都市機能の集積と高度化を図り、広域的な拠点性の向上を目指す。
- ・官民が一体となり、住民を自発的にまちづくりに参画させることで、消費者ニーズを満たした市街地空間の形成を図る。
- ・複合施設「イーラde」については消費者ニーズを捉え、集客力の高い業種の店舗誘致を図る。
- ・狩野川においては、改修や修景、自転車・歩行者のネットワーク軸の形成等により、水辺に憩いの場を創出し、河岸利用の促進を図る。
- ・歩行者空間においては、安全性の確保や快適性の向上、景観の形成を図る。
- ・定住を促進するため、快適で暮らしやすい賑わいのあるまちづくりを進める。
- ・地区を南北に分ける鉄道路線を高架化にすることで、南北のネットワークの円滑化を図る。
- ・ワークショップを開催し、まちの将来像について検討するとともに、地区計画等によるまちづくりのルール化を目指し、魅力ある商店街の創出を図る